

課外講習 高校Ⅲ年夏休み前特別講習と第2期現代文のお知らせ

鷗友教育研究所 担当:中村達幸

夏休み前を中心に夏休み前特別講習と第2期現代文(一部)を以下の要領で行います。対面授業で行う予定ですが、今後の新型コロナの状況次第では遠隔授業(YouTube 配信)になるかもしれません。

【講座案内】

5. Ⅲ年・夏のスーパー英作文 白石富男講師。全4回

【内容】

授業では和文英訳演習が中心になります。大学入試問題として和文英訳は減少しつつありますが、このタイプの問題演習は English writing の基礎を確認し、使える文法・語法・表現のバリエーションを増やすのに最適な形式だからです。1 学期は1～2行の日本語の英訳練習を行いました。夏のこの講座では、難関私大や国公立で出題される(翻訳調ではなく)日本語らしい文が少し加わることでやや難化することと、ここ数年のうちに出题された新しい問題も扱う点が一学期と異なります。必要に応じて文法の整理もしますから、志望校で和文英訳が出る人だけでなく、英語の文法やしぐみを深く知りたいという人も大歓迎です。また、自由英作文の対策も行います。

【日程】①7月11日(月)13:00～14:40 ②7月13日(水)13:00～14:40

③7月21日(木)13:00～14:40 ④7月22日(金、前期終業式)13:00～14:40

6. Ⅲ年・文法で極める英文解釈—入試英文解釈の精髓— 武谷武志講師。全4回

【内容】

この講座では実際の入試から私立・国立で出題される典型的な英文解釈問題を選び、独学では身に着けにくい文法的な構造分析を中心に、感覚ではなく論理で英文を読み解く読解法を訓練していきます。実際の入試で合格するための問題の解き方、解答の作成法の基本をマスターします。またこの講座では語彙・文法・構造分析・内容把握・訳出のすべてを扱うことになるので、授業で自分の弱点を発見し、夏休みの自学自習の課題を自ら積極的に作り上げるきっかけとしてください。なお、文法そのものが弱い生徒が多いことも考慮して、時間の許す限り、補足的に盲点となりやすい文法問題も扱う予定です。

【日程】①7月12日(火)15:00～16:40 ②③7月19日(火)13:00～16:40

④7月21日(木)15:00～16:40

※ 第1期の第7回目は7月5日(火、考査最終日)14:30～16:10に行います。

7. Ⅲ年・入試対策古文 百瀬陽平講師。全4回

[内容]

設問別のアプローチ法を確認することから始めます。例えば、内容合致を問う選択肢の有効な利用法などです。本番の試験で初めて目にする長い古文の文章、そのすべてを完璧に現代語訳する時間の確保は難しい。設問に答えるために必要な情報を見極める目を養ってもらいたい。

そして、基本的なアプローチ法を応用させ難関私大や国公立大の対策につなげたい。

- [日程] ①7月7日(木)13:00～14:40 ②7月8日(金)15:00～16:40
③7月11日(月)15:00～16:40 ④7月22日(金、前期終業式)15:00～16:40

8. Ⅲ年・数学ー共通テストへ向けてー 宮内 正講師。全4回

[内容]

入試における頻出問題の解法とそのアプローチを時間の許す限り対策をする予定です。ある程度のレベルの問題であれば、単に解法パターンの習得しておけばよいものもあるでしょう。もちろん、それも重要なことではありますが、ひとつ先のレベルの問題の攻略を目標とします。

- [日程] ①7月13日(水)15:30～17:10 ②7月14日(木)15:30～17:10
③④7月20日(水)13:00～16:40

※ 第1期の第7回目は7月7日(木)15:30～17:10に行います。

9-1. Ⅲ年・現代文演習 夏休み前講座 山田芳明講師。全4回

[内容] 夏休み前講座の4回分では、一橋大学の記述対策を演習形式で行う予定です。記述問題は自学学習がしにくいだけに、どうしても練習不足になりがちです。ただし、しっかりと練習量をこなせば、安定した得点源となることを見込める設問形式です。したがって、夏休み前のこの時期から対策に取りかかることで十分な練習量を確保しましょう。

特に、一橋大学の国語は、近代文語文も含めさまざまな文章に対する高い読解能力、筆者の主張や論の展開を的確につかむ力、厳しい字数指定に対応する力などが求められています。単に、過去問を解くだけ、量をこなすだけの学習ではなく、自分の弱点・課題を発見し、克服のための道筋を考えながら学習を進めてほしいと思います。そのための手がかり・ヒントをこの講座のなかで各自が見つけ、夏休み～後期の学習につなげていってほしいと期待しています。

- [日程] ①7月8日(金)13:00～14:40 ②7月14日(木)13:00～14:40
③9月30日(金)16:00～17:50 ④10月28日(金)16:00～17:50

9-2 Ⅲ年・現代文演習 第2期講座 山田芳明講師。全7回

【内容】第2クールは夏休み前から開始し、**東大の記述対策**を行います。記述は練習量に比例して、得点が見込めるため、十分な練習を積めるように夏前の時期から、対策に取り組みましょう。

東大の問題は単なる抜き出しでは対応できず、文章の展開を丁寧に読み取る力、それを細部の表現と関連づけて考える力、答えるべき内容を過不足なく、簡潔にまとめる力。指定されている解答欄に収めながらも的確に表現する文章力など、高いレベルの国語力が求められます。最初は思うような解答が作れなくても、心配する必要ありません。ただやみくもに量だけこなす練習ではなく、自分に何が欠けているのかを考えながら努力することで、大きな飛躍も可能です。自らの課題を見つける意識をもって臨んでください。なお、適宜、課題を出す予定です。

【日程】①7月8日(金)10:30～12:10 ②7月12日(火)13:00～14:40

第3回目以降は、金曜日の7・8時間目(最終回は1月)に行う。

※後日、第2期の他の講座の募集を行いますが、その際には第2期現代文の募集はありません。

※ 第1期の第7回目は7月7日(木)10:30～12:10に行います。

10. Active Writing

この講座は別途申し込みを行っています。受講申し込みをした人は、p.4の要領で受講料を払い込んでください。

【日程】

7月5日(火、期末考査最終日)課題配付。対面講義(1回のみ) 13:00～14:00 (予定)

課題提出 全5回 提出日に前回の添削された返却物を受け取る仕組みです。

第1回提出 7月12日(火)

第2回提出 7月23日(土)(第1回の添削を受け取る)

第3回提出 8月6日(土)(第2回の添削を受け取る)

第4回提出 8月20日(土)(第3回の添削を受け取る)

第5回提出 9月3日(金)(第4回の添削を受け取る)

第5回は9月13日(月)返却

【申し込み方法】

1. 受講料を振り込む

受講料 講座番号 5～8、9-1 は全 4 回で、**4,800 円**。

講座番号 9-2(第2期現代文、全 7 回)は **8,400 円**。

講座番号 10(Active Writing)は、**11,000 円**。

振り込みには2つの方法がありますが、**Aのネットでの振り込みをお勧めします**。どちらの方法でも振り込み時に手数料がかかります。1 回の振り込みあるいは 1 枚の振替用紙で複数講座の入金しても結構です。内訳を明記するか、メールでお知らせください。

A 銀行などの金融機関からネットバンキングで振り込む

〈参照〉https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kouza/kj_sk_fm_kz_1.html

銀行名: ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900 店番: 019)

店名(支店名): 0一九店(ゼロイチキュウ店)

預金種目: 当座

口座番号: 0615705

メッセージ欄がある場合は「受講する講座名」(略称でよい)、「生徒の学年・クラス・番号・氏名」をお書き下さい。ない場合は、同様の内容を下のアドレス宛にメールしてください。

メールアドレスは下記参照

B お近くの郵便局で、郵便振替で払い込む

郵便振替用紙(郵便局にあります)に必要な事項を記入して、窓口で払い込む。

口座番号 00130-7-615705

↑
1マス分空白

加入者名 鷗友教育研究所

金額 (講習料)円

通信欄 「受講している講座名」(略称でよい)、「生徒の学年・クラス・番号・氏名」を記入

ご依頼人 依頼人の住所・氏名(保護者名でも生徒名でも可)を記入

※ 振り込みの半券は領収書としてご自身で保存しておいてください。

2. 下の Google Forms に必要事項を入力して送信する。

締め切りは 7 月 2 日 (土)

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfe8m0gyKjT5YOlvUOJntGPu9ckGXnbVlsob8u1HxMZ55HebQ/viewform>

※ 振込の明細、質問あるいは締め切りに間に合わなかった場合などはメールで問い合わせをしてください。

→koyoikuken@ohyu.ed.jp